

「ワン・オーシャン・サミット」にオンライン参加し、共同宣言に署名しました！
～海洋環境負荷低減に向けたサミットに日本唯一の港湾として参加～



久元神戸市長によるビデオ・メッセージ



フォーラムで発表する長谷川港湾局長

神戸港では、脱炭素社会の実現に向けた「カーボンニュートラルポート（CNP）」の形成をはじめ、環境に配慮した港湾機能の高度化に取り組んでいます。

この度、2月9日から11日まで、フランス共和国大統領主催により、フランス・ブレストで開催された海洋に関する国際サミット「ワン・オーシャン・サミット（One Ocean Summit）」に、神戸港が日本で唯一の港湾としてオンラインで出席しました。

神戸港が参加したフォーラム「港湾都市の持続可能な開発のためのグリーン移行」では、久元神戸市長が、ビデオ・メッセージにより神戸市の「水素スマートシティ神戸構想」による先進的な水素利活用の取り組みを紹介したほか、長谷川港湾局長より、神戸港におけるカーボンニュートラルへの取り組みや気候変動による激甚化する自然災害へのリスク対応等についてオンラインで発表しました。

また、世界の港湾関係者による海洋環境負荷低減に向けた共同宣言に署名しました。

今後も、脱炭素化をはじめとする海洋環境に配慮した港湾として、海外の港湾と広く連携を図り、神戸港の国際的なプレゼンスの向上を図っていきます。

1. 「ワン・オーシャン・サミット」概要

- (1) 期間：令和4年2月9日（水曜）～11日（金曜）
- (2) 場所：フランス・ブレスト
- (3) 主催：フランス政府、国際都市港湾協会（AIVP/Association Internationale Villes et Ports）

フォーラム「港湾都市の持続可能な開発のためのグリーン移行」

- (1) 日時：令和4年2月11日（金・祝）午前0時～午前1時50分
- (2) 参加港：10港（HAROPA（ルアーブル、ルーエン、パリ3港湾の合同体）、ケベック港、ナイジェリア港、マルセイユ・フォス港、ペルー港、ロングビーチ港、ロサンゼルス港、バルセロナ港、シンガポール港、神戸港）

2. 「ワン・オーシャン・サミット宣言」概要

(1) 名称 : Déclaration One Ocean Summit (停泊による環境負荷低減に向けた、大臣の支持のもとによる港湾関係者の共同コミットメント)

(2) 概要 :

(ア) 2028年までに、停泊中の船舶に対する陸地からの電力供給に最善を尽くすこと

(イ) 環境船舶指数 (Environmental Ship Index) やグリーンアワード・プログラム等に基づく仕組みによって環境負荷の少ない船舶に対する入港料を減免し、総じて船舶航行の環境への配慮の向上に向けた行動を促進すること

についてコミットする内容。日本からは、神戸港のほか、東京港、横浜港、大阪港が署名し、国土交通大臣がエンドースする形で参加。

(3) 参加港・団体 : 22港・2団体 支持国・機関 : 14ヵ国、1金融機関 (別紙のとおり)

[参考]

・ 外務省ホームページ 記者提供資料 (2022年2月11日付)

(https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/ge/page4_005505.html)

・ ワン・オーシャン・サミットの公式サイト (<http://oneoceansummit.fr/en/>)

※この資料は、市政記者クラブ、海運記者クラブに配布しています。